

ピースフルな活動に学ぼう

埼玉県 織戸 崇

現在52歳です（1969年11月27日生まれ）。以前結婚しましたが、離婚・別居中です。まなぶ友の会埼玉県協高田会長から誘われて、まなぶ友の会との縁につながりました。

今の暮らしぶりに思うことを話します。

意識

長かったコロナ禍自粛があり、ウクライナの戦争が始まり、商品の店頭価格も光熱費も上がりました。国民は何とも思っていないのでしょうか？ 欲しがりません勝つまでは！ ではないのでしょうか？ 「肉屋を支持する豚」という例えがありますが、そのような日本人が多いと思います。テレビも新聞も教育も、また一部の宗教も現実を伝えなくなりました、何が起きているのか、何が問題でどうするべきかを！

闘いを恐れ、闘いを悪とした多くは、闘い方を知ら

ない、闘い方を教えない世の中にしてしまっているのではないのでしょうか！（ここで言う闘いとは階級闘争です） 挙句は、労働者の立場であるのに資本家に共感し、気持まで資本家になっているのではないのでしょうか？

肉屋は豚を生き物とっておりません。最後は、全て切り売りされるのです。爪ぐらいですかね残るのは。私は悪の根源は報道と教育にあると思います、幸いyoutube など比較的検閲を受けにくい媒体も出てきたので、少し明るいですが時間はかかりそうです。戦争と虐殺の違い、戦争とは何か等をしつかり教える文科省であつて頂きたいです。

選挙

私たちの目標は革命であり、階級闘争の終焉です。選挙での当選はその（一つの）入り口でしかないのですが、ままなりません。選挙は資本家に有利に働くシステ

ムです。小が大に勝つには、他の方法もあるのではないかと考えます。本来、小が大に勝つには、奇襲先制攻撃、そして早期の和平交渉が大切であると思います。ピースフル平和革命を実現する為に色々な方法を協議したいです。

友達

一年生になったら、友達百人出来るかな？ の歌ではないですけど、かつては友達の数であるとか、年収、経営者であるかないかとか考えていた時もありましたが、最近の違いは、一般に政治と宗教の話は友達等でしない方が良いと言われますが、実際には政治や宗教の話をして、出来た友達が友達であると思っています。

限り有るから美しい

諸行無常。人生には限り有るから美しい。アニメの「銀河鉄道999」で階級社会が描かれておりますが、その中で主人公の鉄郎は上流社会では一般であった永遠の命をもつ機械のカラダに憧れるのですが、全てを知った時に生身の人間の素晴らしさを知ります。栄枯盛衰、

思えば私にも人生に於いて素晴らしい時がありました。しかし、全てが終わったわけではなく、むかし同様に素晴らしい時をもって、終焉をむかえられるように闘っています。

カタチ

何故、人はカタチにこだわるのでしょうか？

カタチある物は、必ず壊れます。有形無形問わず、カタチが無ければ世界中が平和であるのと思います。人は十人十色とか言つて、それを守ろうとする。キリスト教の創世記、バベルの塔を人間が作つて、神の怒りを受け、多種多様な言語、肌の色にされたとありますが、男も女もすべてなくなつてよいのと思えます。宇宙人とされるグレイのような容姿がそれかも知れません。カタチにこだわる事は、やはり滑稽であり、若さかと思えます。何百年、何千年と人間が生きていることが出来たら、今日の様にこだわらないのでしょうか！

最後に最近嬉しかったこと、嫌だったこと、そして、こうなつて欲しいことは何かを言いたいと思えます。嬉しかったこと⇨労働相談に来て現在も会社側と争

◆特集 ロスジェネ世代の今は！

議中の方がいるのですが、その方、田中哲郎さんの『人らしく』と『忘れてはいけないか』という曲の動画を共有したら、「心に刺さりました」と言われました。

嫌な事Ⅱコロナウイルスによって自粛が始まって以来、信号無視する歩行者が多い、またウインカーを出さないうで車線変更、右左折する車が多いです。それらを目の前で見ても取り締まりをしない警察をも目撃しています。夜間、前照灯を付けないバイク、車もかなりおります。政府の無秩序化が国民を壊しているのだと感じていきます。

こうなつて欲しいのはⅡ『革命』です。

BBC（英国放送協会）の記事によりますと、「非暴力的な活動は暴力的な活動に比べ、その成功率が2倍であり、またその活動に賛同する人の数がそのコミュニティの3・5%に達した時、失敗した事がない」そうです。

1986年にフィリピンで100万人を超える人たちが参加した、ピースフルなピープルパワー革命は、不正選挙まで行っていた当時のマルコス独裁政権を4日で覆しました。2003年にジョージアで汚職がはびこっていたエドワード・シュワルナゼ大統領を辞任に追い込んだバラ革命も、非暴力的な活動でした。

2019年のはじめには、スーダンとアルジェリア

の大統領が、市民によるピースフルな意思表示活動の結果、退くことになりました。これらの活動すべてにおいて、ごく普通の市民たちが、政界のエリートを退け、急進的に変化をもたらしたのです。

ハーバート大学の政治学者エリカ・チヌノウエスによると、ピースフルな活動は倫理的というだけでなく、最も強力な方法であるそうです。20世紀の数百年に及ぶ市民活動を調べた結果、先に述べたように非暴力的な活動は暴力的な活動に比べ、成功率は約2倍あったそうです。様々な要素が絡んではくるものの、その活動に賛同する人の数がそのコミュニティの3・5%に達した時、失敗したためしがないそうです。

彼女も研究をはじめめる前は、非暴力的な活動が暴力的な活動よりも変化をもたらす可能性が高いということに対して懐疑的だったそうですが、実際に起きた活動例をしらみつぶしに研究していく中で、この結論に至ります。また、非暴力的な活動は平均して、暴力的な活動に対して、4倍の人を惹きつけるという統計にも至ります。

1989年にチェコスロバキアで当時の共産党支配を退けたビロード革命は、50万人の人が参加しました。変革には、人の数がとても重要で、ピースフルな活動こそが人びとからの支持を得られる、と彼女は言います。



チェコスロバキアのピロード革命（1989年）

そして、ピースフルな活動は参加する人を選ばないと言います。暴力的な活動に参加する事は、子どもやお年寄り、女性、障がいのある方は難しいでしょう。

日本の有権者は現在、約1億人です。選挙で勝つなら、その約半分、不動票と言われる票を動かすか、動くのを待つか、または、少子化無策で2100年に人口が三分の一になります、そうすれば絶対数が減ります、それまで待つのですか。私は、3・5%に賭けたいです。現在なら440万人、2100年であれば105万人で勝算があります。

資本主義も社会主義も共産主義も、みんな人口は民主主義なのに、暴走すると独裁になります。独裁にはなりません。平等も公平という概念を超えてはなりません。不公平な平等を許してはなりません。マルクスの哲学に「闘いのたびに人間は進化する」とありますが、残念ながら、まだ闘いは必要です。進化が足りません。次の革命では、必ず独裁と独占を止める確固としたブレーキが必要です。

たとえ現世代で結果を導けなくても、闘えば未来は変わるということを未来永劫、伝えなくてはなりません。

（おりど たかし）